

マン・マシン・インタフェース、ソフトウェア製品

| | | |
|-----|------------|------|
| 仕様書 | スーパー DCS 用 | 形式 |
| | ビルダーソフト | SFEW |

形式 SFEW - N

形式 _____

言語 _____

N : 日本語

本製品は生産中止となりました

『代替機種として SFEW2 をご検討下さい。』

主な機能と特長

- DCS カードのデータベースをパソコンにより管理するソフトウェア製品
- Microsoft Windows 95、98、2000、XP または Windows NT 4.0 に対応
- データの入力 (初期設定・コピー)
- 入力したデータのエラーチェック、リストの印刷、データの保存、保存データを DCS カードに再ロード
- IBM PC / AT 互換機専用

必要システム (お客様ご用意)

- パソコン本体 : Microsoft Windows 95、98、2000、XP
 または Windows NT 4.0 を搭載している
 IBM PC / AT または互換機
 Pentium 166 MHz 以上
 300 MHz 以上 (Windows XP)
 RAM 64 MB 以上
 128 MB 以上
 (Windows 2000、XP)
 HDD 空容量 200 MB 以上
- ディスクドライブ : CD-ROM ドライブ 1 基、
 2HD 1.44 MB 3.5 インチ対応フロッピー
 ディスクドライブ 1 基とハードディスク
 ドライブ 1 基
- ビデオ : SVGA 以上の互換ディスプレイ
 プリンタ : Microsoft Windows 対応プリンタ
 通信ポート : COM ポート (RS-232-C)
 Ethernet ポート (L-Bus 経由で接続の場合)
- 前提ソフトウェア : Microsoft Windows 95、98、
 Windows 2000 Professional または
 Windows NT WorkStation or Server 4.0
 Windows XP Professional or Home Edition

ご注文時指定事項

- ・形式コード (例 : SFEW - N)

製品構成

- 下記内容が含まれる CD-R 1 枚
- ・ビルダーソフト、取扱説明書

関連機器

- 下記製品をご用意下さい。
- ・RS-232-C レベル変換器 (形式 : COP2)
 - ・コンフィギュレータ接続ケーブル (形式 : MCN - CON)
 R3RTU - EM 接続時に使用

機能の概要

■パソコン単体で動作

- (1) データの作成：オフライン（パソコン単体）でDCSカードのデータベースを作成します。
- (2) データのチェック：データの入力が完了した時点で、DCSカードを実際に動作させる前にデータベースの様式チェックを行います。
- (3) データの保存：データをディスクに保存
- (4) リストの印刷
 - ・目次
 - ・グループリスト
 - ・シーケンステーブルリスト
 - ・シーケンスラダーリスト
 - ・各種のチェックリスト

■通信ケーブルで接続して動作：

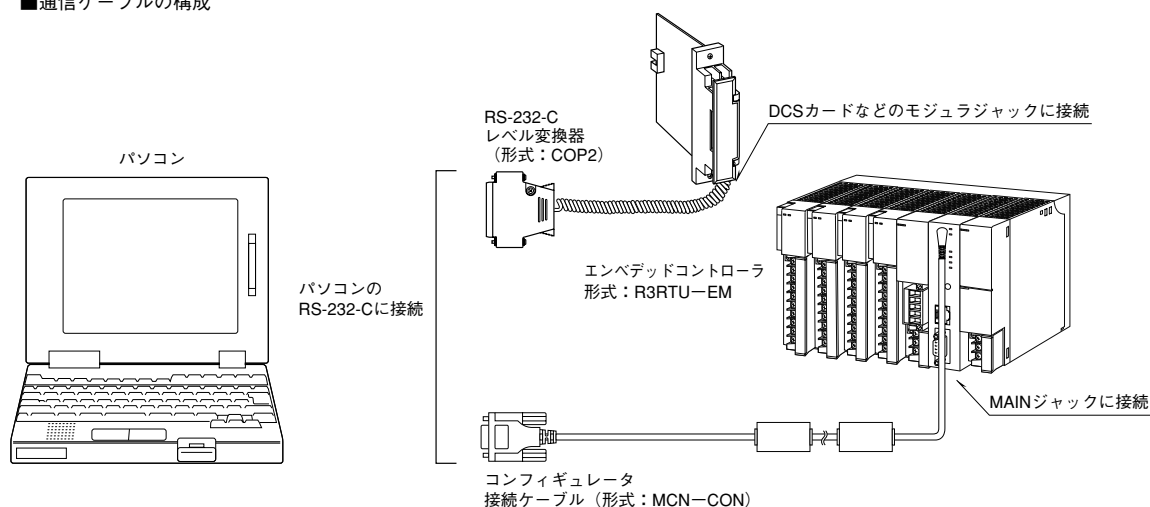
- パソコンのCOMポートと、RS-232-Cレベル変換器（形式：COP2）を用いて機器と接続するか、または、コンフィギュレータ接続ケーブル（形式：MCN-CON）を用いてエンベデッドコントローラ（形式：R3RTU-EM）と接続して動作させる機能です。
- (5) データのダウンロード：作成したデータベースを、DCSカードに送信します。
 - (6) データのアップロード：DCSカードに設定されているデータをデータベースに保存します。
 - (7) オンラインメンテナンス：DCSカードにパソコンを接続して、ソフトウェアブロックの内容を1項目ずつ変更します。プログラミングユニット（形式：PU-2□）による方法と同様です。

■ネットワーク経由で接続して動作：

- L-Bus経由でエンベデッドコントローラ（形式：R3RTU-EM）と接続して動作させる機能です。
- (8) データのネットワークダウンロード：作成したデータベースをR3RTU-EMにネットワーク経由で送信します。
 - (9) データのネットワークアップロード：R3RTU-EMに設定されているデータをネットワーク経由でデータベースに保存します。

システム構成例

■通信ケーブルの構成



■ネットワーク経由の構成

